

# 「グランプリを意識できるのは凄く楽しい。今回はまさに

# “チャレンジ”です」

## SG第21回チャレンジカップ 注目レーサー

### 4371 西山 貴浩 (福岡)

#### 生まれたのも、養成所卒業も 納富英昭教官のお陰…!?

— 西山選手は2005年にデビューしました。なぜボートレーサーに？

**西山** 家が貧しくてねえ(泣)。いえ、ずっとポケバイに乗っていて、その延長線上です。同じモータースポーツということもありましたね。小学校のときに下関で初めてペアボートに乗った次の日から、ボートに乗りたくてたまらなかった。オヤジがボート好きだったんで、負けを取り返したい気持ちもありましたよ(笑)。

— 養成所では勝率7.09と好成績でした。

**西山** 僕は最初の成績が悪くて、本当はクビだったんです。当時の納富(英昭)教官に助けてもらって、クビを免れました。成績が上がってきたのは実技のレースが始まってからです。ちなみに、僕のお産費用は納富教官の2連単舟券を当てて捻出したそうです。オヤジから話を聞いていて名前は知っていました。初めて会ったときに「あっ、この人だ」とすぐにわかったので、お礼を言っとききました(笑)。

— 師匠・川上剛さんとの会いは？

**西山** 養成所を卒業後、倉尾良一さんの所に顔を出したら、そこに原田富士男さんと川上剛さんがいました。アメをたくさんくれたから「良い人たちだなあ」と思って付いて行ったら、とんでもなかったですね(笑)。



GII第5回レディースチャレンジカップ  
注目レーサー  
4530 小野 生奈 (福岡)

お笑い芸人も顔負けの突き抜けた面白さで、陸の上ではつねに話題の中心となる西山貴浩だが、今年の本業が“超”がつくほど絶好調と言って良い。走り慣れた地元水面の芦屋で開催されるチャレンジカップは有力な優勝候補として、陸の上だけではなく、水の上でも話題を独占する。「SGを優勝する大チャンスだと思っている」と、熱い胸の内を西山らしい軽妙な面白トークで語ってくれた。

(インタビュー&構成 / 「マンスリーBOAT RACE」石井誠司)



— では、スタート勝負はしない？

**西山** 僕のレースは粘って、道中で2、3着を狙うスタイルです。モーターは伸び型よりも行き足と出足、レース向きの仕上がりが好きですね。スタートで攻めるタイプじゃないんで、攻め2割、守りが8割みたいなイメージでレースをしています。守りが最高の攻めになるときもあります。

もちろん、人間なんで全部は勝てません。負けるときもあります。ただ、負けても戦争のように死ぬことはない。死なないけど、お客さんが舟券を買ってくれているから、「勝たなきゃいけない」という気持ちで走っています。

— 今、黒いフライホイールが話題です。

**西山** 僕にとって、黒いフライホイールは強烈な追い風でした。今までプロペラのピッチを強くして回転を止めていた人の調子があまり良くなって、僕みたいにギャンギャン回していく高回転系のタイプにハマってくれた。プロペラを含めたモーター調整が巧くできれば、出足、回り足がしっかりと仕上がってくれます。引いたモーターにもよるけど、大崩れすることがなくなりました。

黒いフライホイールのモーターの特徴は、回転が上がりにくいことです。ピッチを強くすると、水の抵抗が大きくなって余計回らなくなる。抵抗を小さくして、早く回転を上げるような調整のほうが合うんでしょうね。

— 何でそんなに明るいですか(笑)。

**西山** 生後2か月のときに、オフクロと一緒にベットから落っこちて、そこから脳がスパークしたと聞いています。家でもこのまんまらしいですよ。小学校の友達とか、久しぶりに会った人にも「お前、変わらないなあ」と言われるので、ずっとこんな感じなんでしょうね。

#### 攻めが2割、守りが8割。 道中で粘るのが西山スタイル

— 13年でフライングが8本。少ないですね。

**西山** デビュー期にいかなりのF2を経験して、「自分はフライングを切らない」と心に誓いました。富士男さんに「ボートレースはスタートじゃない。道中の走りを磨け。ゴンロクを獲るな」と言われたのも大きいですね。実際、当時の富士男さんの平均S Tは0.27で、一番スタートが遅いA1級レーサーでした。その富士男さんが休みのときは僕の練習に付きっ切りで付き合ってくれた。最近になってグループは解散したんですが、僕の走りの基礎にはそれがずっとあります。

最後のFは16年、大村の九州地区選です。あれは忘れもしません。自分が1号艇のとき(準優・第10レース)は追い風が7~8m吹いていて、雨もジャージャー降っていて、まるで嵐でした。今村暢孝さんの前付けも食らって、80m起こしから+01のFを切ってしまいました。

ところがその後、篠崎元志さんが1号艇の準優(第12レース)は雨も風も止み、レース場から見えるイオンには虹が2本も架かっていました。2本もですよ！「スター性がちゃうやん」と思いましたね。一生、元志さんには勝てないと思いました(笑)。

## 「グランプリシリーズ出場へ、とにかく優勝がしたいです」

— 今年ここまでを振り返ってください。

**小野** いつまでにごうしようとか、1年のプランは特になんですけど、今年は自分が思っていたよりも優勝回数が少なかったですね。それでもSGを多く走らせてもらって、準優にも2回乗ることができましたし、全てが勉強になりました。賞金に関しても、その積み重ねが大きかったです。

— 勝率で選ばれるダービーにも初めて出場されました。好成績を残した理由は？

**小野** レーススタイルは全く変えていないので、ダービーに出られる成績が残せた要因は特に思い当たらないですが…。どのコースからでも、いつも勝ちたいと思って走っています。

— モーター調整に関してはどうですか？

**小野** 自分はターンよりも調整力でここまで来られたと思っています。現規格のモーターにも対応できていますよ。ターンも巧くなりたいとは思っているのですが、そう簡単になれるものではないです。今はレース場に入ったら、モ-

ターやプロペラの調整に集中しています。もちろん、気持ちも大事ですね。

— G I 初優勝を飾った芦屋での開催です。  
**小野** 地元意識はありますが、芦屋だから特別な調整をするということはないですね。各レース場によって調整のイメージはあるんですけど、具体的に決めたものはなく、モーターに合わせて臨機応変に対応しています。だから狙っているわけではないのですが、どこでも出足型に仕上がるとは思っています。

#### 「パパ。それで良いと？」 重い一言とデカイ若手の存在

— 今年は賞金18位以内が見えています。

**西山** 今年は「選手をやってる以上、1回で良いからグランプリ出場を狙ってみよう」と1月1日から思っていました。

去年の後半はA2級で一般戦回りだったじゃないですか？ 自分ではわからなかったんですが、腐っていたんでしょうね。ペロペロに酔っ払っているときに、嫁から「パパ。それで良いと？」と言われました。その一言がデカかったですね。

仲谷颯仁と羽野直也の存在もデカかった。3艇旋回の練習をしたときに「何だコイツら！すげえ!!」と感じた。ちょっとレベルが違うなと思った。篠崎兄弟の調子が少し落ちてきたのに、またうとうしい2人が出てきた(笑)。「こいつらと一緒に上の舞台に行って、ジャマをしてやりてえなあ」と思った。そこから気合を入れ直した。

まずは「ダービーに行っちゃろう!」と思いました。罰則で1年間SG除外になって、権利を持っていた鳴門グラチャンにも出場できなかった。だから今年はSGに出る気でした。4、5、6着を獲らず、3連率を上げていこうと思って走っていたら勝率が上がって、優勝回数も増えて、常滑では初めてG IIも勝てました。



— 丸亀メモリアルは開幕3連勝で主役を張りました！

**西山** プロペラが当たっていたんで、自信满满で丸亀へ行っただけですよ。あまり良いモーターを引けなかったんですが、案の定モーターが動いてくれた。「ヨシっ!」と思いました。まさか3連勝でスタートするとは…。

その後、池田浩二さんが部屋に引っ越してきたら、台風で開催が1日中断するし、急にリズムが悪くなった。部屋が悪かった(笑)。

#### グランプリを狙える順位で 芦屋開催なら大チャンス!!

— 芦屋水面のイメージ、モーター調整のイメージなどありますか？

**西山** 芦屋や若松はいつも練習に行っている水面なんで、大好きです。周りも知っている人ばかりで落ち着きます。モーター調整に関しては「これをしなきゃいけない」というような調整法は特にはないけど、ある程度のコツはつかんでいます。良いモーターを引ければ、それなりに出せる自信はありますよ。

— さあ、大好きな芦屋でのSGです！

**西山** 僕が本当に強くなるのは5年後ぐらいだと思いますが、やっとスタートラインに立てた。上への挑戦権を得た感じと言うか、まさに“チャレンジ”ですよ。この時期にグランプリを意識できる位置にいるのは初めてのことで、凄く楽しいです。

チャレンジカップの出場選手は34人しかいなくて、準優には18人が進める。良いモーターは男子の手に渡るし、しかも芦屋。最高のコンディションで挑めるし、芦屋なら緊張もしない。これは大チャンスなんじゃないかとずっと思っていました。

SGを勝つならどこでも良いけど、やっぱり地元で勝つのが最高ですよ。富士男さんと川上さんへ優勝の報告に行くのが、今から楽しみでしょうがないです。優勝を狙って行きます！

— 地元・福岡支部の選手が多く出ますね。

**小野** 福岡勢は毎年多いので、特に意識することはないですね。つねに切磋琢磨していますし、皆でどうこうではなく、一人一人が頑張ることが大事だと思います。

— 芦屋のレディースチャレンジカップへの意気込みをお願いします。

**小野** 特にこれが獲りたいということはなく、女子のタイトルは全部獲りたいと思っています。一走一走をしっかり頑張るだけ。グランプリシリーズへの勝負駆けにもなりますし、とにかく優勝がしたいですね。SGは1つでも多く走りたいので、ここで頑張りたいです。



にしやま たかひろ  
1987年(昭和62年)5月15日生まれ。福岡支部・97期。2005年11月、若松でデビュー。08年9月、若松・タイトルで初優勝。11年11月、大村・チャレンジカップでSG初出場。15年12月の住之江・グランプリシリーズでSG初優勝。18年は4月常滑・G I MB大賞で特別戦初優勝、SGは若松オーシャンC、丸亀メモリアル、蒲郡ダービーに出場した。月刊「マクルール」でコラム「西山貴浩 97期の笑利への道」を連載中。

#### 西山 貴浩選手 データ室 (2018年10月28日現在)

◆通算成績

	出走回数	優出	優勝	2連率	3連率
全種別	3,331回	124回	29回	47.6%	67.8%
S G	145回	1回	0回	35.2%	52.4%
G I	548回	6回	0回	33.2%	53.5%

◆全国成績(最近3節)

18年10月 蒲 郡 SG・ダービー	⑤①④③⑥③①②②
18年10月 戸 田 タイトル	②⑤①①④①①
18年10月 江戸川 一般競走	③③③⑥⑤①①

◆芦屋成績(最近2節)

18年 5月 一般競走	①①⑤③⑥①⑥②④
17年12月 一般競走	②①②②②①①

#### 小野 生奈選手 データ室 (2018年10月28日現在)

◆通算成績

	出走回数	優出	優勝	2連率	3連率
全種別	2,227回	59回	13回	38.8%	55.9%
S G	107回	0回	0回	26.2%	53.3%
G I	167回	4回	1回	37.1%	52.1%

◆全国成績(最近3節)

18年10月 蒲 郡 SG・ダービー	③③③⑤⑤①③①③
18年10月 戸 田 GI・周年	⑤⑤①①⑥③①⑤③
18年 9月 平和島 タイトル	③⑥③③②③①⑤④⑤⑤

◆芦屋成績(最近2節)

18年 4月 GI・レディース	③①②④③①②②①③①①
17年12月 GI・周年	⑥③②①⑤④②⑤②